

2020年1月1日から2023年7月31日までの間において、春日井市民病院での
妊娠時および出産時に新型コロナウイルス感染症に罹患されていた方へ

「新型コロナウイルス感染症妊産褥婦への看護業務量の実態と課題」の 情報公開文書

1 研究について

我々は、現在までに、コロナ禍における産科看護提供体制の実態を明らかにするために看護管理者にグループインタビューを行い、管理的な側面での実態や課題を明らかにしました。新型コロナウイルス感染症に罹患された妊産褥婦へのケアは専門性が高く、新型コロナウイルス感染症に罹患した妊産褥婦へのケアには相当の看護業務量が生じていたと推察しています。そこで、新型コロナウイルス感染症に罹患した妊産褥婦への看護業務量を可視化することで、新興感染症発生時に備えた産科看護提供体制の構築に貢献したいと考えております。

この研究の目的は、新型コロナウイルス感染症妊産褥婦への看護業務量の実態と課題を明らかにすることです。

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

<https://ncu-cr.jp/patient>

2 この研究で用いるあなたの試料・情報の利用目的及び利用方法について

本研究は、新型コロナウイルス感染症妊産褥婦への看護業務量の実態と課題を明らかにすることを目的として、診療録から情報を収集し統計解析を行います。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

対象：2020年1月1日～2023年7月31日に新型コロナウイルス感染症に罹患した妊産褥婦様
を対象といたします。この研究は、2023年9月6日に終了します。

診療録からの情報収集：診療録から収集させて頂く内容は、あなたの年齢、妊娠週数、産褥日数、分娩様式、出血量、産褥日数、新型コロナウイルス感染症による身体症状、実施された看護ケア、助産ケアの内容です。情報収集する期間は、入院時から退院時までです。

4 あなたの試料・情報を利用させていただく研究者等について

この研究では、本研究施設においては、以下の研究者があなたの情報を利用させていただきます。

研究責任者： 春日井市民病院・看護局長 根岸 かほり

研究分担者： 春日井市民病院・看護師長 川原 直子

研究分担者： 名古屋市立大学大学院看護学研究科性生殖看護学・助産学 教授 脇本 寛子

5 本研究施設における研究責任者等の氏名

この研究は、研究責任者/個人情報管理者が責任をもって情報を管理します。

研究機関名： 春日井市民病院
研究責任者： 根岸 かほり
個人情報管理者： 根岸 かほり、川原 直子

なお、この研究は、多機関共同研究であるため、以下の研究機関が参加しています。

【研究代表者】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院看護学研究科
研究代表者： 脇本 寛子

【共同研究機関・研究責任者氏名】

名古屋市立大学病院・脇本 寛子（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター・後藤るり子（看護部長）

6 あなたのプライバシーに関わる内容は保護されます。（個人情報等の取り扱い）

あなたの情報は、それらから個人を特定する情報が削られ、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた病院や研究機関で厳重に管理され、あなたのプライバシーに関わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。報告書などやこの研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表される場合も、得られたデータがあなたのデータであると特定されることはありません。

7 あなたの試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を希望しない場合

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究に、あなたの情報が利用されることや他の研究機関への提供されることを希望されない場合は、下記まで、ご連絡ください。

研究の進捗状況によっては、個人情報の特定ができない状態に加工されており、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

【本研究施設における問い合わせ先】

研究実施機関： 春日井市民病院
連絡先： 0568-57-0057（代表）
（対応可能時間帯） 平日の9時から17時まで
対応者： 看護局長・根岸 かほり

【研究代表機関】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院看護学研究科
研究代表者名： 教授・脇本 寛子
連絡先： 052-853-8037（代表）

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究により得られた研究成果等の取り扱い

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生み出される可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

10 この研究の資金源及び利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）について

研究一般における、利益相反（COI）とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告することが定められています。

この研究は、2022年度から2023年度 日本看護協会 研究助成（感染拡大に備える看護提供体制の確保に関する調査研究助成）の助成を受けて行っています。また、研究に使用する医薬品等製造販売業者からの資金提供等はありません。

なお、名古屋市立大学においては、この研究について、企業等の関与と、研究責任者および研究分担者等の利益相反申告が必要とされる者の利益相反（COI）について、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会の手続きを終了しています。

また、共同研究機関においても、利益相反関係を把握し、生命・医学系倫理指針を遵守して適切に対応しています。